

震源から数百 km 離れた場所でも高いビルでは 10 分以上揺れる場合もあります。

長周期地震動 知ってる？

長周期地震動とは何？

- 特徴 ① 高いビルの下層階に比べ、高層階の方で大きく長く揺らします。
特徴 ② 遠くまで伝わりやすい性質があります。

長周期
地震動
階級

高いビルでの長周期地震動による揺れの大きさは、震度では分かりません。そのため、「長周期地震動階級」という目安で表します。



室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。
驚く人もいます。



室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じる。物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。



立っていることが困難になる。



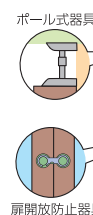
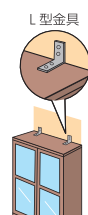
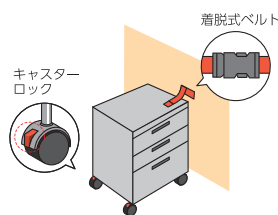
立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。

室内はどうなるの？

- 特徴 ① 高層階ほど、家具類の転倒等が多く発生する傾向があります。
特徴 ② キャスター付きの家具類は大きく移動します。

家具類の 転倒・落下・移動 防止対策

東京消防庁「家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック」より



ガラス飛散防止フィルム

ストッパー式ボール式を使用するときに併用する



進化し続ける 「緊急地震速報」

Further improvement of Earthquake Early Warnings

新手法の導入により、緊急地震速報の精度が向上します。

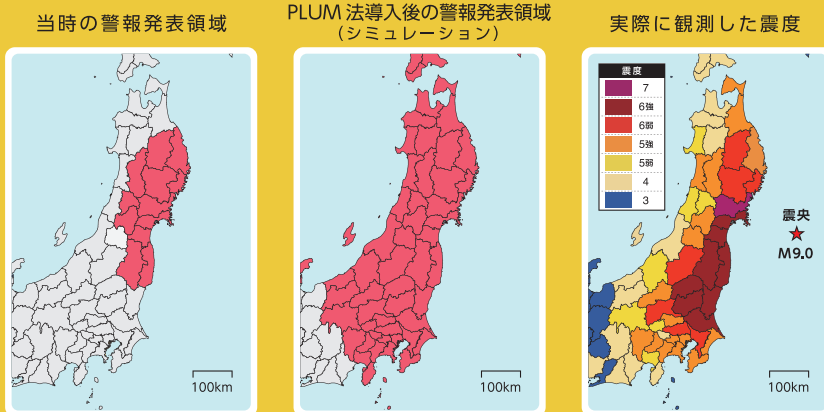
PLUM法

平成30年3月 運用開始

巨大地震が発生した際でも精度良く震度を予想します。

震源域の広い巨大地震に対応できるようになり、震源から離れた地方に対しても強い揺れを予想できるようになります。

改善事例（平成23年東北地方太平洋沖地震）



※ご利用の専用受信端末によっては、改修等が必要な場合があります。詳しくは専用受信端末の発売元や配信事業者などにご確認ください。

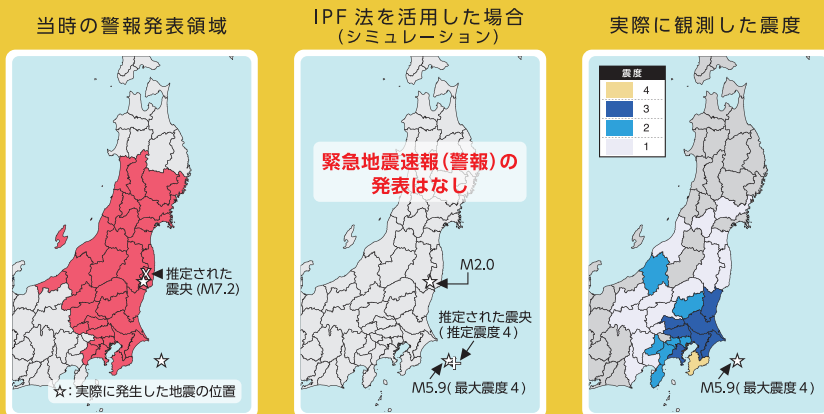
IPF法

平成28年12月 運用開始

同時発生した複数の地震をこれまでよりも精度良く分離・識別します。

右の事例では、2つの地震から過大な震度の予想をしましたが、IPF法では地震を識別して適切な処理が行われています。

改善事例（平成23年3月22日12時38分頃の緊急地震速報）



緊急地震速報を見たり聞いたりしたら、周囲の状況に応じて、あわてず、まず身の安全を!!



あたまをまもる



かぐからはなれる



へいからはなれる



落ちてくるものにちゅうい



あわてて外にとびださない



近くの階でおりる



急ブレーキを
かけない



ハザードランプ
をつけて減速

緊急地震速報利用者協議会制定

